

【同時発表】永田クラブ



平成 30 年 6 月 29 日

内閣府総合海洋政策推進事務局

国土交通省

日本財団

「海の日」行事“海と日本プロジェクト”2018を開催！

総合開会式、海の船一斉公開、海洋教育シンポジウム等の開催について

総合海洋政策本部・国土交通省・日本財団は、海洋についての国民、特に、次世代を担う青少年の理解と関心を一層深めるため、広く関係者の参画を得て、「海の日」行事“海と日本プロジェクト”を実施いたします。

本プロジェクトは、総合海洋政策本部・国土交通省・日本財団が主催し、関係省庁や自治体、各種団体、企業、大学等の産学官民の協働による海に関する多様なイベントに取り組んでいこうと2015年から実施しているものです。

本年においては、下記のとおり、総合開会式、海の船一斉公開、海洋教育シンポジウム等を開催いたしますので、お知らせいたします。

記

イベント名・日時	場所	イベント概要など
1 総合開会式 7月16日(月・祝) 10:00~10:30	東京港 晴海客船ターミナル 4階多目的ホール	○趣旨 「海の日」行事“海と日本プロジェクト”の総括的行事として開催します。また、海洋国家としてのメッセージを、特に次世代を担う青少年等に向けて発信します。 ○内容 ・開会挨拶：福井 照 海洋政策担当大臣(予定) ・挨拶：石井 啓一 国土交通大臣(予定) ・挨拶：笹川 陽平 日本財団会長(予定) ・「海の日」メッセージ ○聴衆 参加者(招待者・小中高生含む)約300名 一般参加者につきましては、ホームページ上で募集を行い、抽選を行います。(http://uminohi2018.info/)

2	<p>海の船一斉公開、 ワークショップ・展示会 7月16日(月・祝) 10:00~17:00</p>	<p>東京港晴海埠頭</p>	<p>○海の船一斉公開 普段見学できない、4種類の船の内部を一般公開します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社商船三井 次世代型自動車運搬船 BELUGA ACE ※船内見学には事前申込が必要であり、申込はすでに締め切っています。 ・海上保安庁 PL型巡視船 ぶこう (PL10) ※船内見学には身分証明書が必要です。 ・国立研究開発法人海洋研究開発機構 支援母船 よこすか (「しんかい6500」も) ・一般社団法人 WNI 気象文化創造センター 元南極観測船 SHIRASE <p>○汽笛の一斉吹鳴 海の日を祝い、港内に停泊中の船舶が、正午より10秒から30秒の継続する長音を一斉に行います。</p> <p>○ワークショップ・展示会 船員・潜水土・海上保安官・漁業取締りの仕事の紹介、操船シミュレーターによる船員体験、「C to Sea プロジェクト (注)」のパネル・トリックアート・海に関する作品の展示、オリジナル缶バッジ製作など、様々な催し物を用意しています。</p> <p>注：「C to Sea プロジェクト」とは、子どもや若者をはじめとして、より多くの人に海や船の楽しさを知ってもらうため、海に触れる機会の増加や、海や船に関する魅力的な情報発信等を推進する官民一体の取り組みです。「海と日本プロジェクト」の一環として、国土交通省が推進しています。</p>
3	<p>海洋セミナー・演奏会 7月16日(月・祝) 11:00~15:00</p>	<p>東京港 晴海客船ターミナル 2階セミナー会場、 4階多目的ホール</p>	<p>○海で活躍している女性たちのお話を聞こう！ 現役の女性船員さん(フネージョ)が船と船の仕事のお話をします(司会：ミス日本「海の日」)。</p> <p>○「しんかい6500」女性パイロットを目指して しんかい6500のスタッフが、人類最後のフロンティア“深海”へあなたを御案内します。</p>

			<p>○スーパーストリングスコーベによる演奏会</p> <p>世界的指揮者である佐渡裕氏が芸術監督を務めるスーパーキッズオーケストラ OB のピックアップメンバーによる船と海をテーマにした弦楽四重奏を行います。</p> <p>○海上保安庁音楽隊による演奏会</p> <p>ミス日本「海の日」とコラボレーション演奏も行います。</p> <p>○白石康次郎氏講演会「壁はある。でも、乗り越えられる。」</p> <p>海洋冒険家 白石康次郎氏が、次世代を担う青少年に向けて講演します。</p>
4	<p>海洋教育シンポジウム</p> <p>7月20日(金)</p> <p>13:30~16:30</p>	<p>東京海洋大学 越中島会館</p>	<p>○概要</p> <p>明治150年関連施策として、海洋教育を全国展開する機運を高めるため、異分野も含め多様な関係者の巻き込みを図り、海洋教育の多様性を周知する機会として、海洋教育シンポジウムを開催します。</p> <p>○プログラム（予定）</p> <p>主催者挨拶</p> <p>講演：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋教育の理念 田中 智志 東京大学海洋アライアンス 海洋教育促進研究センター センター長 ・我が国の海洋教育の取組について ファシリテーター：篠原 文也 政治解説者、 ジャーナリスト 内閣府総合海洋政策推進事務局、 文部科学省、国土交通省 ・学校現場における取組について 岩手県洋野町 角浜小学校、林郷小学校 ・民間による取組について 世界の海洋教育の実情 海野 光行 日本財団 常務理事 ・食育からみた海洋教育の推進について 服部 幸應 服部栄養専門学校 校長

		<p>・パネルディスカッション</p> <p>テーマ：今後 10 年を見据えた海洋教育のあり方</p> <p>ファシリテーター：牧野 篤 東京大学大学院 教育学研究科教授</p> <p>パネリスト：さかなクン 東京海洋大学 客員准教授</p> <p>渋谷 一典 国立教育政策研究所 教科調査官</p> <p>後藤 敏信 岩手県洋野町立林郷小学校 校長</p> <p>○聴衆 参加者 約 300 名</p> <p>一般参加者につきましては、ホームページ上で募集を行い、抽選を行います。(http://uminohi2018.info/)</p>
5	<p>海と日本プロジェクト サポートプログラム</p> <p>〔主催:日本財団〕</p> <p>http://uminohi.jp/</p>	<p>海を未来へ引き継ぐための下記 5 つのアクションを設定し、全国で 1,500 以上のイベントを実施します。</p> <p>①海を学ぼう！②海をキレイにしよう！③海を味わおう！</p> <p>④海を体験しよう！⑤海を表現しよう！</p> <p>※本イベントに関する詳細は、別途お知らせします。</p>

※上記記載のイベントのほか、7月1日から7月31日までの1か月間は、「海の月間」として、全国各地でマリンスポーツ大会や体験乗船など、海や船に親しむための様々なイベントが開催されます。詳細は、国土交通省公式ホームページ（参考：http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk1_000026.html）を御覧ください。

○取材等

- ・取材を御希望の方は、別紙を御確認の上、7月6日（金）15時までにお申込みください。
- ※スペースには限りがありますので、あらかじめ御了承ください。
- ・申込先：hqt-uminohi2018@ml.mlit.go.jp

お問合せ先：

（総合開会式）

内閣府総合海洋政策推進事務局 大久保・藤原 TEL. 03-6257-1767



（海の船一斉公開、ワークショップ・展示会、海洋セミナー・演奏会）

国土交通省海事局総務課海洋教育・海事振興企画室 林・谷・渡邊 TEL. 03-5253-8946

（海洋教育シンポジウム、海と日本プロジェクトサポートプログラム）

日本財団 海洋チーム 梅村・勝俣 TEL. 03-6229-5152

取材を希望される方へ

「総合開会式」、「海の船一斉公開、ワークショップ・展示会」、「海洋セミナー・演奏会」、「海洋教育シンポジウム」は、傍聴・カメラ撮り可です。出席者のぶらさがり会見は行いません。

○取材の申込みについて

取材を希望される方は、メールに下記項目について御記入の上、お申込みください。申込締切は、7月6日（金）15時です。

- 1) 貴社名
 - 2) 媒体名
 - 3) 取材代表者の所属・氏名
 - 4) 取材代表者の連絡先(Tel、携帯番号、Fax、E-mail)
 - 5) 取材希望プログラム
 - ①総合開会式、②海の船一斉公開、ワークショップ・展示会、③海洋セミナー・演奏会、④海洋教育シンポジウム
- ※①～④については、カメラでの撮影が可能です。
- 6) 来場人数及び役割(ペン、撮影、音声等)
 - 7) 撮影の有無(撮影される場合はスチール・ムービーの別、三脚の数)

【申込先】

hqt-uminohi2018@ml.mlit.go.jp

○当日の取材の受付時間等について

- 総合開会式
 - ・受付時間：8時30分から9時20分まで
 - ・カメラ設営期限：9時50分まで
- 海洋教育シンポジウム
 - ・受付時間：12時から12時50分まで
 - ・カメラ設営期限：13時20分まで

※取材に関する注意事項説明を会場後方にて行いますので、それまでに受付を済ませてください。

※カメラ設営期限を過ぎますと、御入場いただけない場合がございますので、あらかじめ御了承ください。

※②、③につきましては、御来場者様に十分配慮いただくとともに、各自の責任の下撮影等を行ってください。

プログラム スケジュール

場所：客船ターミナル 4階 ホール

時間：13:00～

海上保安庁音楽隊 「海の日」記念演奏会

海上保安庁音楽隊は、昭和63年の海上保安庁創設40周年を契機に結成され、今年で30周年を迎えました。隊員は、海上保安庁職員として日々の業務をこなしながら、演奏活動を行っています。今回は、ボーカルに2018ミス日本「海の日」山田麗美さんを迎えコラボ演奏も実施します。



時間：14:30～

「壁はある。でも、乗り越えられる」

海洋冒険家 白石康次郎氏 講演会



撮影：YOICHI YABE

プロフィール
少年時代に船で海を渡るという夢を抱き、三崎水産高等学校在学中に単独世界一周ヨットレースで優勝した故・多田雄幸氏に弟子入り。1994年、当時26歳で、ヨットによる単独無寄港無補給世界一周の史上最年少記録(当時)を樹立。その他数々のヨットレースやアドベンチャーレースでも活躍されています。

場所：客船ターミナル 2階 海の講演会会場

●「フネージョ★」セミナーシリーズ

①時間：11:00～

「海で活躍している女性たちのお話を聞こう!」

司会・進行：山田 麗美(ミス日本「海の日」)

パネラー：平山 智子 商船三井 一等航海士

木村 舞香 海上保安庁下田海上保安部 巡視船「かの」海上保安官

前田 博美 国富株式会社 潜水士

榎本 宣子 大阪湾水先区 三級水先人



司会・進行
2018ミス日本「海の日」
山田 麗美

幼少期にパリやニューヨークに8年滞在した帰国子女です。将来は声楽家を目指し、「NHKうたのおねえさん」になることが夢。中学高校ではミュージカル部や聖歌隊に所属し、現在は東京音楽大学声楽科で本格的に声を鍛えています。

②時間：13:00～

「しんかい6500」に乗って深海に行きたい人、必見!!

JAMSTEC講演 「『しんかい6500』女性パイロットを目指して」

講演者：潜航士 飯島 さつき



●演奏会

時間：15:00～

スーパースtringスコーベ・カルテットTOKYO

世界的指揮者佐渡裕が最も愛情を注ぐ「スーパーキッズ・オーケストラ」(SKO)の卒業生により結成された弦楽合奏集団より、東京藝術大学にて研鑽を積んだユニット「カルテットTOKYO」が登場。



プロフィール
1st ヴァイオリン：林周雅 東京藝術大学在学中。
2nd ヴァイオリン：堀内星良 東京藝術大学首席卒業。
ヴィオラ：長田健志 東京藝術大学大学院在学中。
チェロ：山根風仁 東京藝術大学在学中。

シャトルバスのごあんない

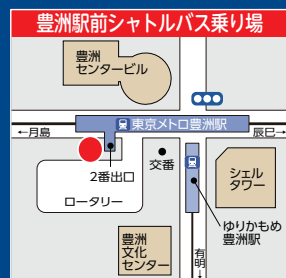
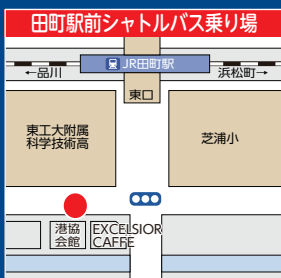
無料シャトルバス運行

田町 ↔ 晴海会場

田町→晴海会場
08:40～11:20(20分間隔)
晴海会場→田町
14:50～17:10(20分間隔)

豊洲 ↔ 晴海会場

豊洲→晴海会場
08:45～11:15(15分間隔)
晴海会場→豊洲
14:45～17:15(15分間隔)



★駐車場はありません。公共交通機関・シャトルバスをご利用ください。

海と日本 PROJECT

in はるみ 晴海



海の日 7月16日(月・祝)は 晴海ふ頭へ行こう!



海と日本PROJECTは「海洋国家日本」として海と日本人の絆を深く想い海の恵みを次世代を担う子ども達に広げていくため総合海洋政策本部、国土交通省、日本財団の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクトです。



高船三井 次世代型自動車運搬船「BELUGA ACE」



JAMSTEC 支援母船「よこすか」



海上保安庁 巡視船「ぶこう」



WN | 気象文化創造センター「SHIRASE」元南極観測船



しんかい6500

海の日

2018年7月16日(月・祝)

10:00～17:00

会場：晴海客船ターミナル及びその周辺 東京都中央区晴海5丁目7番1号

主催：総合海洋政策本部 国土交通省 日本財団

お問い合わせ 海と日本プロジェクトin晴海 運営事務局

ホームページURL <http://uminohi2018.info> ☎03(5379)1336

E-mail harumi@uminohi2018.info 受付時間 月～金(10:00～17:00)土日・祝休み



交通のご案内

都営バス：「東京駅丸の内南口」、「有楽町駅前」、「銀座四丁目」、「勝どき駅前」から「都05-1系統」(晴海埠頭行き)終点下車
※「都03系統」(「四谷駅」、「半蔵門」など)、「都13甲系統」(「錦糸町駅前」、「豊洲駅前」など)も、1時間に1～2本程度運行されています。

★駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

関連行事

「海の日」海洋教育シンポジウム 2018

日時 平成30年7月20日(金) 13:30～16:30

場所 東京海洋大学越中島会館

海の船一斉公開



1

商船三井
自動車運搬船「BELUGA ACE」
事前申し込み終了



2

海上保安庁
巡視船「ぶこう」
(船内見学には登録が必要です)
公開時間 10:30 ~ 16:00



3

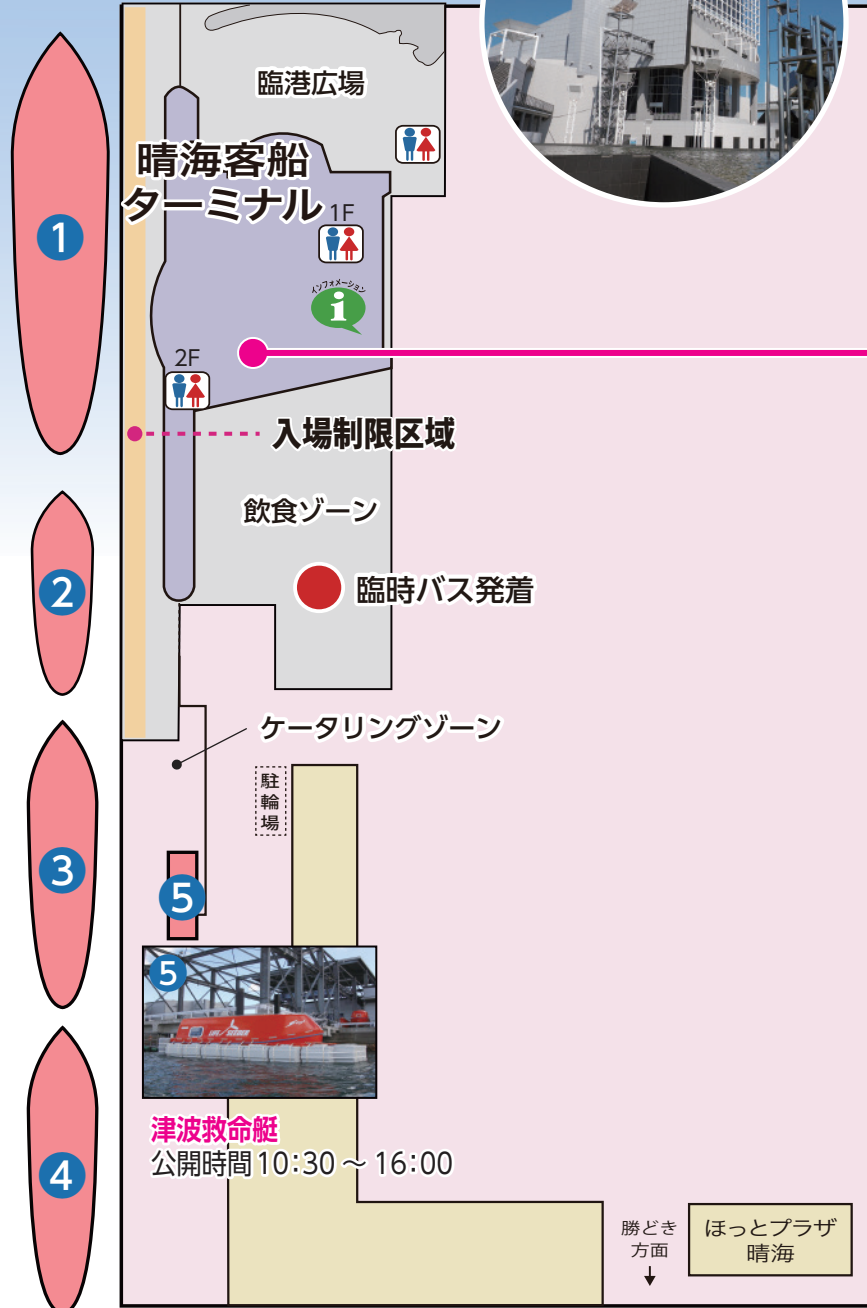
WNI 気象文化創造センター
元南極観測船「SHIRASE」(しらせ)
公開時間 10:30 ~ 16:00



4



JAMSTEC
支援母船「よこすか」
「しんかい6500」
公開時間 10:30 ~ 16:00



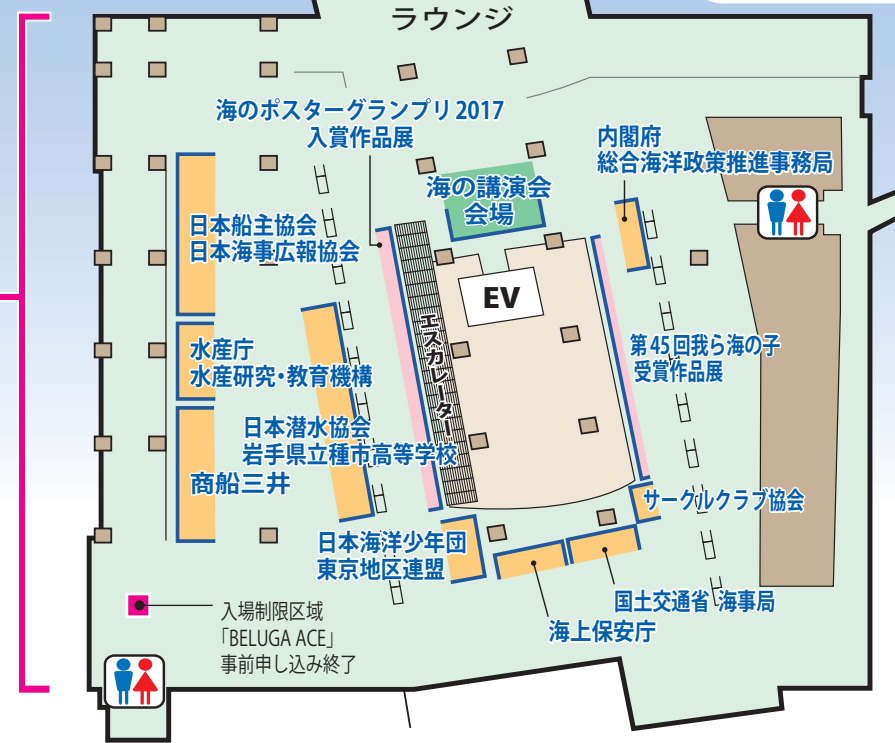
船内見学の注意事項

- ・サンダルやかかとの高い靴での見学は非常に危険ですとお断りいたします。
- ・服装は動きやすい服装でお越しください。
- ・見学列の割り込みや、場所取りは他のお客様の迷惑になりますので行わないでください。
- ・大きな荷物やバギーの持込みはできませんので、クロークテントにお預けください。
- ・雨天の場合、傘袋を用意しますのでご利用ください。
- ・船内へ犬などの動物を連れて入ることはできません。
- ・船内での飲食・喫煙は厳禁です。
- ・船内では、係員(船員)の指示に従うようお願い致します。
- ※天候等の条件により、一般公開を中止する場合があります。

※化粧室は客船ターミナル内のみですのでご注意ください。

ワークショップ・展示会・セミナー

晴海客船ターミナル2F



〈昨年の様子〉

- 商船三井** ▶ 商船三井の暮らしと産業を支える色々な船、船乗りのひみつ、歴史を紹介します。船のペーパークラフトのワークショップ(小学生高学年以上対象)も開催します。
- 水産庁/水産研究・教育機構** ▶ 水産庁の漁業取締りの活動や水産研究・教育機構の研究の一部をパネルや展示で紹介するとともに、おさかなクイズの実施やクラフトペーパーも配布します。
- 日本船主協会** ▶ 操船シミュレータを使った船長体験や、船の絵等のオリジナル缶バッジ作りができます。参加者には素敵なプレゼントも!
- 日本潜水協会** ▶ 港湾事業(埋め立てや防波堤建設)などにはなくてはならない潜水士のお仕事を紹介するとともに、潜水服や器材を実際に見て触れていただくブースです。「あまちゃん」で有名になった種市高等学校海洋開発科の生徒さんも参加します。
- 岩手県立種市高等学校** ▶ 海洋少年団とロープワークしよう!ロープワーク作品はプレゼントします。
- 日本海洋少年団東京地区連盟** ▶ 海洋少年団とロープワークしよう!ロープワーク作品はプレゼントします。
- 海上保安庁** ▶ 24時間365日、日本の海を守る海上保安庁。今回のブースでは、その活動の一端をパネルや展示でご紹介すると共に制服を着ての記念撮影会を実施します。
- 国土交通省 海事局** ▶ C to Sea プロジェクトのパネルを展示します。また、海の日記念オリジナル缶バッジ製作、トリックアートの展示も実施します。C to Sea プロジェクトのSNSのフォロワーも大募集しています。フォローして頂いた方には記念品をプレゼントします。
- 内閣府総合海洋政策推進事務局** ▶ 四方を海に囲まれている日本の国境は、数多くの島が担っています。その国境の島々を映像とパネル展示でご紹介します。
- サークルクラブ協会** ▶ お絵かき教室「海・船」をテーマに絵を描いてみませんか? 我ら海の子作品展
- うみポストグランプリ** ▶ 海のポスターグランプリ 2017 入賞作品展



フォローしていただいた方には、国土交通省ブースにて記念品と引き替えます。先着1,500名様